

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2022年度	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	環境園芸学科				
科目名称	作物学各論Ⅰ				授業形態	講義			
科目コード	710037	単位数	2単位	配当学年	3年	実務経験教員		アクティブ ラーニング	
担当教員名	廣瀬 大介								
授業概要	我が国の農業は、多様化が進んではいるが、依然、水稲が基幹作物となっている。このため日本の農業を知る上で、水稲の種類、栽培状況、生理・形態特性あるいは栽培方法などを熟知することは重要と考えられる。そこで本講義は、水稲の分類、栽培状況、生理生態的特性、さらには栽培管理方法を理解することを目的に行う。								
関連する科目	履修前に作物栽培学を受講していることが望ましい。履修後は、作物学各論Ⅱを履修することが望ましい。								
授業の進め方と方法	一般的な講義方式で行う。また、必要に応じてパワーポイントを利用しながら講義を進めていく。								
授業計画【第1回】	種類 水稲の種類について学ぶ。								
授業計画【第2回】	形態的特性Ⅰ（根と茎） 根と茎の形態的特性について学ぶ。								
授業計画【第3回】	形態的特性Ⅱ（葉と穂） 葉と穂の形態的特性について学ぶ。								
授業計画【第4回】	生理生態的特性Ⅰ（発芽） 発芽の生理生態的特性について学ぶ。								
授業計画【第5回】	生理生態的特性Ⅱ（根） 根の生理生態的特性について学ぶ。								
授業計画【第6回】	生理生態的特性Ⅲ（茎） 茎の生理生態的特性について学ぶ。								
授業計画【第7回】	生理生態的特性Ⅳ（葉） 葉の生理生態的特性について学ぶ。								
授業計画【第8回】	生理生態的特性Ⅴ（穂） 穂の生理生態的特性について学ぶ。								
授業計画【第9回】	栽培管理方法Ⅰ（選種、浸種） 選種と浸種について学ぶ。								
授業計画【第10回】	栽培管理方法Ⅱ（播種、育苗） 播種方法と育苗について学ぶ。								
授業計画【第11回】	栽培管理方法Ⅲ（本田の耕起、整地） 本田の耕起と整地方法を学ぶ。								

授業計画 【第12回】	栽培管理方法Ⅳ（施肥、田植え） 本田の施肥方法と田植えについて学ぶ。
授業計画 【第13回】	栽培管理方法Ⅴ（本田の水管理） 本田の水管理方法について学ぶ。
授業計画 【第14回】	収穫、乾燥及び調整 水稻の収穫及び収穫後について学ぶ。
授業計画 【第15回】	玄米の品質 玄米の等級について学ぶ。
授業の到達目標	水稻の形態的特性、生理特性および基本的な栽培方法を理解することを目標としている【知識・理解の育成】。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)
授業時間外の学修 【予習】	各回の講義内容を把握しておくこと（最大40分）。
授業時間外の学修 【復習】	各回の講義内容を十分に理解しておくこと（最大2時間）。
課題に対する フィードバック	定期試験後、模範解答を示す。
評価方法・基準	定期試験（100点）
テキスト	必要に応じて配布する。
参考書	新編 食用作物、イネつくりの基礎、稲作全書（1）～（3）、作物学用語事典
備考	